

「生かされて」

生かされて、生きる。人間は一人産まれて、一人で生きて、一人で死んでいくと、勘違いしがちだ。そんなこと今さらと思うかもしれないが、かく言う私も、一人で生きているような錯覚に落ちいつている。

今の私があるのは、両親のおかげだと思うが、その両親にもまたそれぞれに親がいる。また親がいるというだけでは、子どもは産まれない。両親の「子どもが欲しい」という気持ちと、産婦人科の先生の助けがなければ産まれない。生きることに関しても、誰かに育ててもらわなければ生きられない。私もおかげさんで、五体満足に産まれて育ったが、その人生も今は50歳を少し超えた。

そして思うことは、積極的、前向きに生きている人は、どこか輝いている。だいたい長生きしている人はプラス志向だ。クヨクヨしていたら、そうも生きていられない。でも人は、病気も怪我もする。そうなった時、たいていの方は治そう、治りたいと努力する。実家の父のお姉さんの姑は、寝たきりでもテレビを見て「あの薬欲しい、この薬欲しい」と言ったそう。やっぱり人間はたとえ寝たきりであっても、生ききりたいのだ。反対に「こんな人生嫌だ」と、死にたいと思う人もいる。でも簡単には死ねない。

私の頭にあるのは、ある先生の言葉だ。先生の90歳を過ぎたお母さんが、「ハーフ、ハーフ」と息苦しそうにして生きている。それを見て先生も、「生きているのも仕事だと思うようになった」と。私も生きている。ただ呼吸しているだけではなく、生ききったという、後悔のない生き方をしたい。